

組織再編後のSPI活動

まずはプロジェクトに教えてもらおう

オムロンソフトウェア株式会社

SC事業部 品質革新グループ

衛藤弘嗣

発表概要

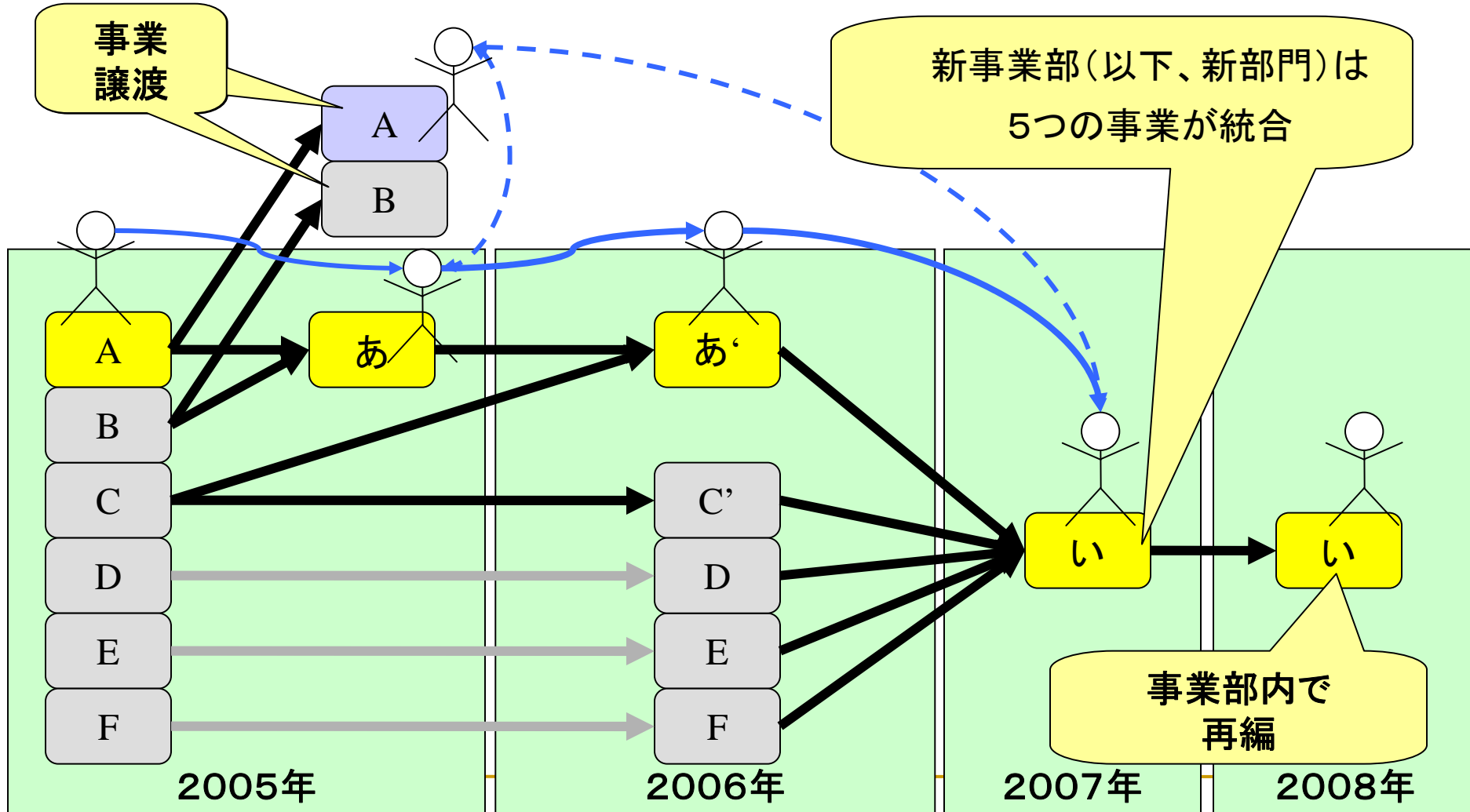
- 組織再編と異動により、自分が経験したことの無い事業のSPI活動を行うことになった
- 新組織でのSPI活動を、どのように開始したか事例紹介をいたします

自己紹介

- ライン部門のSPI担当者です.
- 経歴(ソフト開発は組み込み系を担当)
 - '89~'91:流通系
 - レジスター、CAT
 - 工場出荷テストやハードウェアの自己診断プログラム
 - '91~'99: 駅務系
 - 券売機、精算機
 - 磁気カード・定期の判定
 - テスト担当
 - '00~:SPIの担当に
- 関西でコミュニティのスタッフをしています
 - プロジェクト・ファシリテーション、関西ライフハック研究会 など

背景

- 2005年より、組織変更が相次ぎました。



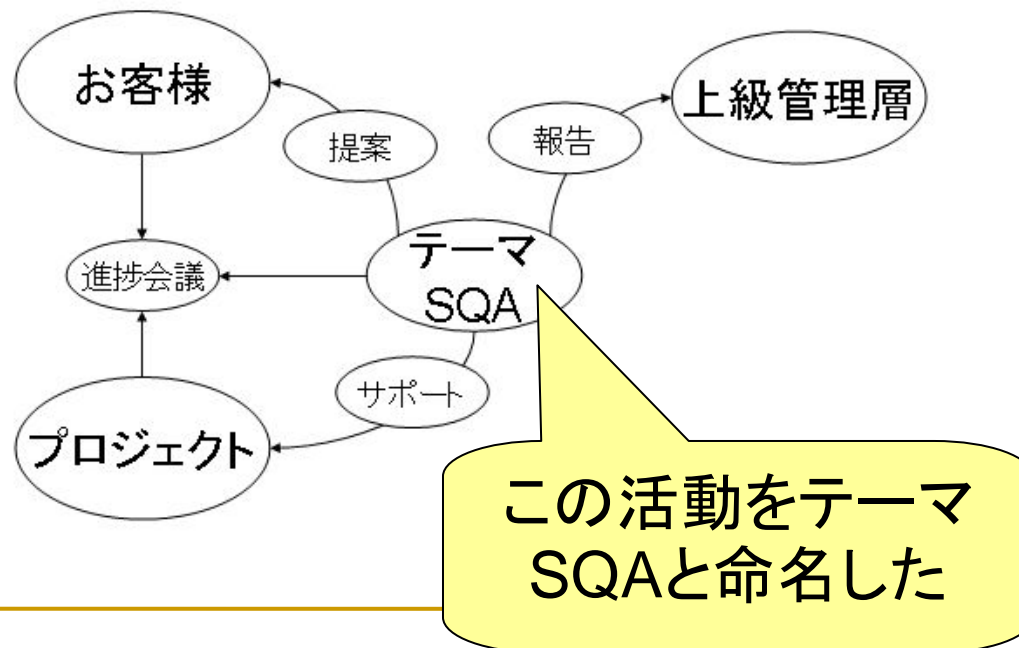
SPI活動開始

- SPIチーム(3名)は、事業譲渡した部門の出身
⇒新部門のプロセス、製品、開発方法などは知らない
- 各事業の手順・帳票を収集
⇒少しわかってきた
 - SPIの取組み期間に差が有るため、事業により差がある
例:「リスク管理」を定義の有無など

あるプロジェクトが混乱し、支援を依頼された
何を作っているか、どんな作り方をしているのか知らない・・・

プロジェクトに教えてもらう

- プロジェクト支援のために
 - プロジェクトに密着し、状況を把握する
 - プロセスの問題を解決し
 - 定期的及び問題発生時は上級管理層へ報告する



具体的な活動内容

- プロジェクトに密着し、状況を把握する
 - ⇒進捗会議参加(社内、客先)
 - ⇒協力会社も含めて、折にふれて話を聞いた(食事・喫煙コーナ・通りすがり)
- プロセスの問題を解決する
 - ⇒既存の計画や成果物を確認し、課題と改善の検討(後述)
- 定期的及び問題発生時は上級管理層へ報告する
 - ⇒毎週:事業部長、部長、開発マネージャに報告
 - ⇒問題発生時は、事業部長に報告

改善事例(課題)

■ 課題

- 進捗の把握と報告書の作成に時間がかかる

4時間

- 進捗報告と課題が混在するため、会議時間が長くなる

2時間

- 仕様変更が多く、進捗率がわからなくなる
進捗100%でも、作業が完了しない…

改善策

■ 1) 計画書の改善

- ローリング・ウェーブ計画法を採用
 - 一ヶ月より先のタスクは概略で記述
 - 見通しができる直近一ヶ月のタスクは詳細化
 - 詳細化したタスクは報告周期の一週間以内とする

■ 2) 進捗管理改善策

- 進捗の確認を%でなく、○/×で表現
 - 進捗報告はタスク消化率で報告
タスク消化率:「完了タスク数」/「完了予定タスク数」

■ 3) 客先進捗会議の改善

- 進捗報告、課題確認、課題解決の分離

*** 改善策は客先に提案し、快諾していただいた**

改善の効果

- 進捗の把握と報告書の作成に時間がかかる
 - 4時間/回 ⇒ 2時間/回(2時間減)⇒月8時間削減
- 進捗報告と課題が混在するため、会議時間が長くなる
 - 2時間/回 ⇒ 45分/回(1時間15分減)⇒月5時間
 - 進捗会議は6～10人程度出席していたので、平均8人とするとも月40時間削減！
- 仕様変更が多く、進捗率がわからなくなる
 - 進捗100%でも、作業が完了しない・・・
 - ⇒完了・未完了が正確にわかる
 - ⇒？%にしようか？と考える必要が無くなる

改善の効果(さらに)

- 顧客に信頼していただき相談を受けた
 - 「テストが十分できているか知りたい」
⇒仕様とテストケースのマトリクス作成し説明
 - 「テストがいつ終わるのか知りたい」
⇒テスト消化率・不具合解決率のグラフ作成
 - 構成管理について検討して欲しい
⇒ハードウェアも含めた構成管理を検討

顧客の課題も含めて、改善を実施

改善点

■ 活動上での課題:

- プロジェクトに対する支援のバラツキ

⇒対象プロジェクトが増え(具体的に書く)

⇒プロジェクトの支援にバラツキが出てきた

あるプロジェクトの課題解決をしている間に、他のプロジェクトで課題が出ててもフォローが困難

■ 対策:

- リソースを追加(1人⇒3人)

- 活動開始時に「テーマSQA活動計画」を作成、プロジェクトが求めていることを盛り込み合意

最後に

プロジェクトメンバに、
「ありがとう」と言ってもらえた。

自分の活動が役に立っていることが実感できた

#ただし必要であれば厳しいことを
#しっかり言うことは大事

ご静聴
ありがとうございます
ございました